



人類に奉仕するロータリー

● クラブテーマ ●
入会し みんな幸せ ロータリー

■■ 本日のプログラム ■■
■花見家族例会 クラブ管理運営委員会■

例会場：ニューウェルサンピア沼津
例会日：毎週木曜日 12:30点鐘

事務局 ●TEL 055-961-2050(久松会計事務所内)
●FAX 055-961-2600(久松会計事務所内)
E-mail ●numawestrc@gmail.com

◆◆第 1226 回 例会 会長挨拶◆◆

我がクラブの初代会長である、森 延敏（のぶとし）さんのお墓参りをさせていただきました。そして、その後に沼川沿いの花見をいたしました。この沼川沿いに桜を植えるために、森さんを中心に、当時の原町商工会の方々が大変ご尽力された、という話を、生前、森さんから直接伺った記憶があります。

創立10周年の会長を務めた時の会長挨拶の中で、桜満開の頃、「花の雲 鐘は上野か 浅草か」という芭蕉の句を私は紹介しました。学会で東京へ出かけたのです。花の雲とは、満開の桜の形容です。

そしていま、原駅に向かう歩道橋の上から沼川沿いの桜並木を観る時、「さまざまの こと思い出す桜かな」という芭蕉の句を、私は思い出していました。

我がクラブは昨年創立25周年を迎えました。初代会長 森 延敏さん、初代幹事 鈴木博行さん、そして二代目会長 鈴木良則さんをはじめ、諸先輩のご努力と思いが、今日（こんにち）の沼津西クラブを作り上げたのだと思います。

ここ三年で私は両親と姉を続けて亡くしました。つくづく思うのは、大切な人への一番の供養は、決して忘れないこと、ではないでしょうか。3月26日には、植松さんのお父様、秋彦様が亡くなられました。きっと延敏さんが、花見をしながら、一緒にロータリー談義をしよう、とお呼びになったのではないのでしょうか？私も旅立ったら、花の下にて盃を傾けながら、お二人とクラブの事を語り合うつもりです。

後ほど懐かしい写真と、17年前に撮りました貴重なビデオを皆様に見ていただきます。どうかご期待ください。

鈴木博行さんをはじめ、生前の森さんを、よくご存知の方々のお話を伺いながら、今宵一時、クラブの恩人、森 延敏さんをみんなで偲ぶとともに、我がクラブの未来を、共に語り合ひましょう。

4月のプログラム

1227回 12:30 04月06日(木)	ニューウェルサンピア沼津 クラブフォーラム クラブ管理運営委員会 理事会⑩
1228回 12:30 04月13日(木)	ニューウェルサンピア沼津 地区研修・協議 会報告 次期会長・奉仕・青少年 米山記念奨学・新会員
1229回 12:30 04月20日(木)	ニューウェルサンピア沼津 外部卓話 ポリオプラス 東京東江戸川RC会長 嶋村文男君
1230回 12:30 04月27日(木)	ニューウェルサンピア沼津 外部卓話 沼津市自立相談支援センター 米山世紀センター長

クラブ管理運営委員会報告

★出席報告（会員総数 27名）

例会	会員数	出席数	MU	出席率
1226 回	25 名	16 名	-	64.00 %
1224 回	27 名	22 名	2名	88.89 %

●欠席者（ 9 名）

颯川ゆう子、久松 但、井上武雄、宮口雅仁
本村文一、重光 純、鈴木良則、内田逸美
成田みちよ

会 長	名古良輔	幹 事	土屋昌之
広報委員長	上野祥行	編 集 者	成田みちよ

●他クラブへの出席者

名古屋良輔、土屋昌之、鈴木和憲、永井克彦

(3/25 財団セミナー)

神尾栄一、重光 純、本村文一 (3/31 沼津RC)

●スマイル報告 本日のスマイル (10,000 円)

- 1.名古屋良輔：今日は、お花見例会です。宮島さん御苦労を掛けました。
- 2.名古屋良輔：森 延敏さん、杉山寿章さんの、お墓参りをいたしました。
- 3.土屋昌之、鶴田龍聖：今日は、宜しくお願いいたします。
- 4.植松正：先日は、亡き父の通夜・告別式をお手伝頂きありがとうございました。



司会の渡邊勝也君



乾杯は鶴田龍聖君



鈴木博行君より森名誉会員との思い出話をして頂きました。

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

ありません。

2. 報告・連絡事項

- ①次週は、理事会がありますので、理事の方は出席又協議資料の提出をお願いします。
- ②4月のロータリーレートは、1ドル=116円です。

お墓参りと花見家族例会 (松新)



花見例会前に沼津市原の日蓮宗 昌原寺墓所にて森名誉会員と杉山寿章君のお墓参りを致しました。



国道一号線沿いの櫻の様子。



人類に奉仕するロータリー

● クラブテーマ ●
入会し みんな幸せ ロータリー

■■ 本日のプログラム ■■
■外部卓話 クラブ管理運営委員会 ■

例会場：ニューウェルサンピア沼津
例会日：毎週木曜日 12:30点鐘

事務局 ●TEL 055-961-2050(久松会計事務所内)
●FAX 055-961-2600(久松会計事務所内)
E-mail ●numawestrc@gmail.com

◆◆第1227例会 会長挨拶◆◆

今日のお話は、「みんなで昆虫を食べよう」です。2013年に国連食糧農業機関（FAO）が昆虫食を推奨する報告書、『食用昆虫—食料と飼料の安全保障に向けた将来の展望について』を発表しています。2050年頃には世界人口は現在の73億人から100億人近くに達し、この人口を支えるには、食糧生産を倍増する必要があり、このままでは深刻な食糧危機に直面すると、FAOは指摘しています。特にタンパク質の不足が心配されています。その解決策の1つとして、栄養価が高く、食肉用の家畜に比べて少ないエサで育てることができる昆虫食を推奨しています。昆虫の多くは、高タンパクで脂肪分に富み、カルシウム、コレステロールを減らす不飽和脂肪酸、ビタミンや食物繊維的な働きをもつキチン、ミネラルが豊富で栄養価が高いのです。

昆虫食のメリットとして飼料変換効率(肉1kgを生産するのに必要な餌の量)が非常に高いことがあります。昆虫の種類にもよりますが、概ね昆虫肉1kgの生産に2kgの飼料が必要なのにに対し、牛肉1kgには8kgもの飼料が必要なのです。飼育においても、昆虫は牛のようにメタンガスなどの温室効果ガスを排出せず、成長が速く、水や餌が少なく済み、畜産ほど場所を取りません。昆虫は人間が食べない生活廃棄物を餌にすることができ、家畜の飼料としても使用できます。

世界に目を転じると、アジア・アフリカを中心に20億人が1,900種以上の昆虫を食べていると言われます。地域によっては肉より高値で取引されている昆虫もあります。つまり、昆虫食は世界的には、ごく一般的食文化なのです。

日本は昔から昆虫の種類が多い昆虫大国で、各地方でイナゴや蜂の子、蚕さなぎ、セミなどが伝統食として食べられてきましたが、明治以降農薬が普及して、自然環境の中で人々が昆虫と接する機会が減り、食の欧米化や都市化に伴い次第に食料として昆虫を食べなくなりました。しかし現在でも、昆虫食は商品として販売されています。例えば、長野県の食品メーカーからは「蜂の子」、「まゆこ」、「ざざむし」といった商品が販売されています。「蜂の子」はクロスズメバチの幼虫やサナギ、「まゆこ」はカイコガの水炊き、「ざざむし」は冬の天竜川で採集される水生昆虫の幼虫の大和煮です。イナゴは現在でも甘露煮や佃煮がスーパーでも売られており、ほぼ全国的に販売されている唯一の食用昆虫です。

これからは子どもの間だけでなく、生涯を通して昆虫たちと仲良くすることが必要のようです。

4月のプログラム

1228回 12:30 04月13日(木)	ニューウェルサンピア沼津 地区研修・協議会報告 次期会長・奉仕・青少年米山記念奨学・新会員
1229回 12:30 4月20日(木)	ニューウェルサンピア沼津 外部卓話 ポリオプラス 東京東江戸川RC会長 嶋村文男君
1230回 12:30 4月27日(木)	外部卓話 沼津市自立相談支援センター 米山世紀センター長

5月のプログラム

05月04日(木)	祝日休会
1231回 12:30 05月11日(木)	インジェクションビーチ 内田逸美君 理事会⑩
1232回 12:30 05月18日(木)	外部卓話 地区管理委員会 (青少年奉仕及び危機管理)
1233回 12:30 05月25日(木)	ニューウェルサンピア沼津 ガバナー補佐期末訪問 G補佐

会 長	名古良輔	幹 事	土屋昌之
広報委員長	上野祥行	編 集 者	成田みちよ

クラブ管理運営委員会報告

★出席報告（会員総数 27名）

例会	会員数	出席数	MU	出席率
1227 回	27 名	23 名	-	85.19 %
1225 回	27 名	25 名	2名	100 %

●ビジター

1. 伊藤 毅様：沼津柿田川RC
2. 木村智昭様：沼津北RC

●欠席者（ 4 名）

永井克彦、成田みちよ、鈴木和憲、内田逸美

●他クラブへの出席者

久松 但(4/4 ワールド大阪ロータリーEクラブ)

●スマイル報告

1. 重光 純：誕生日のお祝いありがとうございます。
2. 鈴木博行、3. 本村文一、4. 山本宜司：家族の誕生日のお祝いありがとうございます。
5. 名古屋良輔：クラブフォーラム、宮島副会長、よろしくお祈りします。
6. 鈴木良則：桜も、ようやく、開花しました。
7. 名古屋良輔：ゴルフクラブコンペ優勝しました。
8. 地区協議会出席者：地区協議会の反省会の残金です。

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

- ①富士山吉原RC
4月13日(木) 祝寿の会 於：マサカデソウツド 御殿場
MUは、11:30～12:30 ホワイトパレスフロント
- ②新富士RC
4月11日(火) 夜間例会

理事会報告

1. 報告事項

マム様への贈呈式に、加藤学園は参加せず、名古屋会長、久松委員長、土屋で行くことになりました。

2. 協議事項

- ①5月度のプログラムの件 クラブ管理運営委員長 宮島賢次君
- ②5.6月座席の件 SAA 芹澤和子君
次期委員会順とします。鶴田さんより、後方の席だと聞き取りにくいので前方の席にしてほしいとの要望があり前方の席にしました。
- ③千本浜海岸清掃の件 奉仕プロジェクト委員長 久松但君
・日時 5月14日(日) 集合時間 9:30
・集合場所 千本浜堤防前(沼津西RC清掃活動PR看板前)
・参加者目安 会員 20人 加藤学園IAC 20人 沼津市支援学校 10人
・加藤学園に何人参加できるか確認
・車場の確保 沼津市に計画書の提出をします。
・今回の行事は、メーキャップ扱いとします。
- ④千本浜海岸清掃予算の件 クラブ管理運営委員長 宮島賢次君
・日時 5月14日(日) 11:30～
・会場 (株)コア建設南側

⑤千本浜海岸清掃の広報について

公共イメージ委員会より沼津市役所に報道依頼する。沼津朝日と静岡新聞。

⑥クラブビルダー賞推薦依頼について

今年度は、候補者がありません。

⑦外部卓話お礼の件

5月18日(木) (1232回) 交通費と講師謝礼を支給する。

⑧会員推薦の件

植松正君より推薦がありました。5月以降の入会希望で話を進めていく。

以上

クラブフォーラム

クラブ管理運営委員長 宮島賢次君

討論題材：1. インターアクトクラブとの係わり方

①クラブとして、どうゆう係わり方を望みますか？

現状：

- ・千本浜清掃を合同で行っている。
- ・年2回程I. A. C生徒からクラブ例会にて活動報告を受けている。
- ・I. A. Cの例会に年数回出席している。(MU扱い)
- ・文化祭でのベトナム枯葉剤被害の展示物に協力している。

要望：

- ・年に一度以上は、I. A. Cへの勉強会を行い(ロータリー情報と同じ様な)、生徒の知識を深める事に努める。
- ・西クラブの奉仕作業には、今までと同じ様に関わって頂く。
- ・学校側及びI. A. Cの年間行事予定を共有したい。
- ・年2回程の報告で良いが、期首に活動計画、期末に活動報告をして頂く。
- ・顧問教諭だけではなく校長・副校長を含め今後の方向性を確認する必要性がある。

討論題材：2. クラブ例会の柔軟性について

① 例会の回数について

結果：

- ・今まで通り月4回とする・・・7
- ・月3回以上とする・・・4
- ・月2回以上とする・・・1
- ・祝日が有る週は、休会とする・・・2

理由：

- ・会員と毎週顔を合わせてこそロータリー
- ・月2～3回では必要なプログラムを消化出来ない
- ・若い現役世代は昼間忙しいので減らした方が良い
- ・3回以上にしてもプログラムの内容を密にすれば良い

②夜間例会について

結果：

- ・夜間例会は廃止のままで良い・・・9
- ・夜間例会を復活させた方が良い・・・5

理由：

- ・夜間の運転は危険を伴う
- ・夜間例会の時の出席率が悪い
- ・親睦例会8回、テーブル会6回で十分
- ・夜間例会を通じての親睦は必要
- ・夜間の方がコミュニケーションを取り易い

-----3月分出席一覧-----

顯川 (3, 1)	久松 (1, 3)	井上 (2)	神尾 (2, 2)	宮口 (3)	宮島 (④) +1	本村 (④)
永井 (④) +1	名古屋 (④) +1	成田 (3, 1) +1	芹澤和 (④)	芹澤貞 (④) +1	重光 (3, 1)	下原 (3)
杉山 (④)	鈴木博 (3, 1)	鈴木和 (④) +1	鈴木良 (2)	田村 (3, 1)	土屋 (④) +1	鶴田 (④)
内田 (3)	植松 (④)	上野 (④)	渡邊勝 (3)	渡邊亀 (3, 免除)	山本 (④) +1	
例会出席%				83 . 96 %	地区報告%	
					93 . 40 %	

氏名(ホームクラブ出席数、他クラブ出席数)+超過出席数。丸数字はホームクラブ出席100%を示す。



人類に奉仕するロータリー

● クラブテーマ ●
入会し みんな幸せ ロータリー

■■ 本日のプログラム ■■
■ 地区研修・協議会報告 ■

例会場：ニューウェルサンピア沼津
例会日：毎週木曜日 12:30点鐘

事務局 ●TEL 055-961-2050 (久松会計事務所内)
●FAX 055-961-2600 (久松会計事務所内)
E-mail ●numawestrc@gmail.com

◆◆第1228例会 会長挨拶◆◆

嶋田珠巳一しまだ たまみ著、『英語という選択——アイルランドの今』という本が話題になっています。

私自身はインターネットで知り合ったリチャードさんに会うために、1998年オランダでの学会中にアイルランドのヨークという街を訪れた経験があります。先日の地区研修・協議会で松村ガバナー・エレクトが、ラフカディオ・ハーンの影響を引用されていました。ハーンは、アイルランド人の父とギリシャ人の母を持ち、アイルランドで幼小児期を過ごしています。昨年ロータリーの友誌11月号のスピーチ欄に、ハーンの影響が掲載されています。次年度はガバナー訪問を始め、地区大会などでハーンの影響が引用されるかもしれません。

さて、この本の中で著者は、ここ200年ほどの間に母語であるアイルランド語よりも、英語が多くの人の日常語になってしまった様子を語っています。そんなことが、ここ日本で起こるはずがない、と決めつけるのは早計です。先日お話した、英語公用語化論が喧(かまびす)しく、これだけ英語の早期教育が叫ばれ、小学校での英語の教科化が決定した日本では、あながちあり得ない話でもないのです。日本の現状を思うと、数百年後には日本でも同様のことが起こるかもしれないのです。他山の石です。

元々、国全体でアイルランド語を話していたにもかかわらず、英語が主流となった背景は17世紀にまで遡ります。その頃からイギリス人の入植と植民地支配が始まり、初めは入植者との意思疎通のために、一部の人たちが英語を使用しているに過ぎませんでした。その後、ジャガイモ飢饉でアイルランド語を

話す多くの人々を失ったこと、学校での英語による授業の実施、イングランドへの出稼ぎ、さらには英語を習得することが経済的優位性に繋がるなどの複数の要因により、英語がコミュニケーション言語の主流になったという歴史的経緯があります。

日本で言語交替が起きるかどうかが、その結論は社会が決めることです。ただ、日本の人口が減少し、経済を支えるためにも移民を受け入れた時、移民の方にも分かるような簡単な日本語を基本とする、もしくは英語を使ったほうが意思疎通が楽で国際的にも通用する、という状況が生まれるかもしれません。英語狂騒曲が流れている現在だからこそ、ちょっと立ち止まって自分たちの日々の行動や世の中の流れを考えてみることはあってもいいのかもしれない、と著者は述べています。

三世代後の子孫たちが、夏目漱石を読むのに日本語版でなく、英語版を読むようなことがないように願いたいものです。

4月のプログラム

1229回 12:30 4月20日(木)	ニューウェルサンピア沼津 外部卓話 ポリオプラス 東京東江戸川RC会長 嶋村文男君
1230回 12:30 4月27日(木)	外部卓話 沼津市自立相談支援センター 米山世紀センター長

5月のプログラム

05月04日(木)	祝日休会
1231回 12:30 05月11日(木)	インセッションスピーチ 内田逸美君 理事会⑩
1232回 12:30 05月18日(木)	外部卓話 地区管理委員会 (青少年奉仕及び危機管理)
1233回 12:30 05月25日(木)	ニューウェルサンピア沼津 ガバナー補佐期末訪問 G補佐

会 長	名古良輔	幹 事	土屋昌之
広報委員長	上野祥行	編 集 者	成田みちよ

クラブ管理運営委員会報告

★出席報告 (会員総数 27名)

例会	会員数	出席数	MU	出席率
1228回	27名	21名	-	77.77%
1226回	27名	16名	5名	84.00%

●欠席者 (6名)

久松 但、永井克彦、重光 純、内田逸美、上野祥行、渡邊勝也

●他クラブへの出席者

宮島賢次、山本宜司、名古屋輔、鈴木和憲、杉山真一、上野祥行、芹澤貞治、芹澤和子、内田逸美 (4/2 地区協議会) 鈴木和憲 (4/6 静岡東RC) 久松 但、内田逸美 (4/7 沼津RC) 重光 純 (4/10 沼津柿田川RC) 颯川ゆう子 (4/11 北海道2500ロータリーEクラブ)

●スマイル報告

1. 田村治義：誕生日のお祝いありがとうございます。
2. 名古屋良輔、3. 土屋昌之、4. 鈴木良則：地区研修・協議会の報告を、よろしく願います。
5. 鶴田龍聖：地区研修の方々、御苦労様でした。本日は、よろしく。
6. 名古屋良輔：三月も、100km走りました。今月は、厳しそうです。
7. E・Dテーブル：E・Dテーブル回残金です。

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

①新富士RC

4月18日(火) 特別休会

2. 報告・連絡事項

①5月14日(日)千本浜清掃の出欠席を、ご記入ください。

地区研修・協議会報告



■職業奉仕 鈴木和憲君■

職業奉仕部会では、PDG志田洪顯氏のスピーチがあり、「職業奉仕」とは何？

この言葉の意味するところは、ロータリアンでも、そのとらえ方は様々なようで、言葉の意味するところは、「ロータリーの友」誌や、各地区研修リーダーなどの話を聞き、各クラブでどのような活動をすべきか議論を重ねていきたいとの事でした。

■社会奉仕 杉山真一君■

ロータリーでの社会奉仕とは、その活動の動機や規模、内容は様々ですが、この一番身近で多くの人たちが実践してくれている「清掃」をテーマに取り上げ、奉仕すなわちサービスとは？

そしてロータリーの社会奉仕活動とは？を再考し理解を深めるためのセミナーを開催するそうです。

外部講師に作家の「荒川祐二氏」お招きし講師が大学生の時に新宿駅でたった一人で始めた清掃活動が半年後の5月3日のゴミの日には全国一斉にゴミ拾いを開催、その活動はやがて全国ムーブメントにまで広がっていた実体験をもとに講演して頂くそうなので次年度、セミナー参加後、皆様に報告したいと思います。

■国際奉仕 上野祥行君■

昨年まで青少年交換留学生の事業がメインとなっていましたが、今年度から青少年奉仕委員会が出来たことで国際奉仕委員会の方向性として、各クラブ又は各ロータリアンの方々が国際奉仕活動に関わっていただくことができないかと考え活動をして行くとのことです。

各クラブ間でどのような国際奉仕活動をしているか分からない事が多いので、来年度に向けて7/1～調査開始⇒8/1～回収・聞き取り⇒9/1～集計・分析⇒10/1～報告書作成⇒11/12地区大会で速報版、2018年1/1～ネット配信し、情報提供してクラブへの活動支援を随時していくとのことです。

■青少年危機管理 名古屋良輔君■

ロータリー関連の青少年プログラムに関係し、会員が青少年保護に関する法律に違反したという申し立てにクラブが対処しなかったという情報を得た場合、RI理事会は、このクラブの加盟を停止または終結させることができる、とあります。

問題が起きた時は、72時間以内にRIに申し立てがあったことの事実の報告をする、とあり、迅速な対処が必要です。

■新会員部会 内田逸美■

四月二日に焼津文化会館で開催されました地区研修、協議会新会員部会に、参加させていただきました。

米山梅吉記念館 渡邊理事長より、ポリオ撲滅についてのロータリークラブでの活動のご説明を受けました。その必要性の深さを、入会間もない私も痛感いたしました。

ロータリークラブの活動を知る良い機会であったと思います。

■会長・幹事・会員増強維持委員会・

公共イメージ向上委員会部会 宮島賢次君■

会員増強・維持委員会からは、増強の数値目標は各クラブにて設定し増強活動して頂きたい。

公共イメージ向上委員会からは、10月24日の世界ポリオデーに向けて、ポリオ撲滅運動のポスター・のぼり旗・ベスト・募金箱等のグッズを各クラブに支給するので、9月1日～10月23日の間に募金活動をお願いし、10月24日には新聞報道する。



人類に奉仕するロータリー

● クラブテーマ ●
入会し みんな幸せ ロータリー

■■ 本日のプログラム ■■
外部卓話 ホリオプラス
東京東江戸川RC会長 嶋村文男君

例会場：ニューウェルサンピア沼津
例会日：毎週木曜日 12:30点鐘

事務局 ●TEL 055-961-2050 (久松会計事務所内)
●FAX 055-961-2600 (久松会計事務所内)
E-mail ●numawestrc@gmail.com

◆◆第 1229 例会 会長挨拶◆◆

19 世紀後半ノーベルによって発明されたダイナマイトは、鉱山開発など社会の発展に大きく貢献しました。しかし同時に、戦争に利用されることにより多くの犠牲者を生みました。人は彼を「死の商人」と呼びました。それに対してノーベルは、こう語っています。

「この世の中で、悪用されないものはない。科学技術の進歩は、常に危険と背中合わせだ。それを乗り越えて、初めて人類の未来に貢献できるのだ」

そのノーベルが莫大な資産を投じて創設したのがノーベル賞です。20 世紀、人類は科学技術により劇的な進歩を遂げましたが、一方で科学は戦争の悲劇を拡大しました。国家は兵器開発に天文学的予算を投じ、戦場は最新兵器の実験場と化しました。科学は人類に、大いなる希望と絶望をもたらしました。

■アインシュタインは科学技術の戦争への使用を危惧していましたが、多くの科学者が愛国心に燃えて、積極的に戦争に協力することになります。

ドイツ人化学者フリッツ・ハーバー博士も、その一人。博士は空気中から窒素を取り出す方法、窒素固定法を確立しノーベル賞を受賞しました。博士の研究を応用して窒素肥料が開発され、飢餓に苦しむ世界中の人々が救われたのです。ところが第一次世界対戦が始まると、博士は極秘の研究を始めます。初めての化学兵器、毒ガスです。その研究を知らされたアインシュタインは、こう慨嘆します。

「君はその天才的な頭脳を、間違った目的に使っている」科学をねじ曲げている、という抗議に対して、彼はこう 反論しています。

「毒ガスは戦争を早く終わらせ、ドイツの兵士を救うのだ!」

■アインシュタインはフロイトへの手紙の中で、こう問いかけています。「人類を戦争の脅威から救う術(すべ)はあるのか? この問いは科学の進歩により、私たちの文明の存亡を決める問いともなっています。しかし、様々な努力がなされているにもかかわらず、この問題を解決しようとする試みは、ことごとく嘆かわしい挫折に終わっています」

■精神分析学により人間を深く洞察したフロイトの回答は、以下の通りです。

「歴史の中に現れる無数の残虐行為、日常生活に見られるおびただしい数の残虐な行為を見れば、人間の心にとてつもなく強い破壊欲動があることがわかります。破壊欲動はどのような生物の中にも働いており、生命を崩壊させ、生命のない物質に引き戻そうとします。人間から攻撃的な性質を取り除くなど、できそうにもありません」

しかし、絶望からは何も生まれません。嶋村さんのお話に希望を見出し、我々は前に進むしか無いのです。

4月のプログラム

1230回 12:30 4月27日(木)	ニューウェルサンピア沼津 外部卓話 沼津市自立相談支援センター長 米山世紀様
-------------------------	---

5月のプログラム

05月04日(木)	祝日休会
1231回 12:30 05月11日(木)	ニューウェルサンピア沼津 インシエーションスピーチ 内田逸美君 理事会⑩
1232回 12:30 05月18日(木)	ニューウェルサンピア沼津 外部卓話 地区管理委員会(青少年奉仕及び危機管理)
1233回 12:30 05月25日(木)	ニューウェルサンピア沼津 ガバナー補佐期末訪問 前島正容君

会 長	名古屋良輔	幹 事	土屋昌之
広報委員長	上野祥行	編 集 者	成田みちよ

クラブ管理運営委員会報告

●ゲスト

1. 嶋村文男様：東京東江戸川RC

●ビジター

1. 大石昭裕様：沼津柿田川RC

★出席報告（会員総数 27名）

例会	会員数	出席数	MU	出席率
1229 回	27名	24名	-	88.89 %
1227 回	27名	23名	2名	92.59 %

●欠席者(3名)

鈴木博行、重光 純、下原満知子

●他クラブへの出席者

名古屋良輔、宮島賢次、杉山真一（4/13 加藤学園インターアクトクラブ）内田逸美（4/13 東京中央RC）

鈴木博行、久松 但（4/18 沼津北RC）

●スマイル報告（本日のスマイル 14,000 円）

1. 嶋村文男様（東京東江戸川RC）：本日、卓話をさせていただきます。宜しくお願いします。

2. 名古屋良輔、3. 土屋昌之、4. 本村文一、5. 成田みちよ、6. 鈴木和憲：嶋村様、卓話を宜しくお願い致します。

7. 久松 但：誕生日のお祝いありがとうございます。

8. 鈴木良則：米山梅吉記念館春季例祭が4/22に開催されます。こぞって、参加してください。

9. 渡邊勝也：先週は、欠席致しまして、申し訳ございませんでした。

10. 永井克彦：すみません。今月は2日しか出席できませんでした。

11. 成田みちよ：所用につき、早退させていただきます。

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

ございません。

2. 報告・連絡事項

①5月14日（日）千本浜清掃の出欠席をご記入下さい。

外部卓話

演題 END POLIO NOW

=今こそポリオ撲滅のとき=

ポリオプラス 東京東江戸川RC会長
嶋村文男様

現在、国際ロータリーの最優先課題は人類からのポリオ撲滅です。

私は今まで2012年4月から今年の1月まで合計4回インドニューデリー近郊でのNID(全国ワクチン一斉投与日)に参加しています。

ポリオは古くから存在しているウイルス性の感染症です。その感染経路は感染者の尿や便から排泄されたウイルスから感染するもので人間にしか発生しません。

そして現在治療方法はなく、ワクチンの投与(接種)しかなく、その予防方法はありません。日本においても1960年に東北、北海道、九州などで大量発生し、その年の患者数は約6500人を越えました。そして1961年旧ソ連及びカナダから経口生ワクチンを緊急輸入、世界で最初の徹底したNIDを実施し、それがWHOによるポリオ根絶の世界戦略として採用されたのです。

国際ロータリーでは1985年国際的公共衛生プログラム「ポリオ・プラス」を開始し、当初全世界に353の発生数は2016年には37件に押さえ、99.99%以上減少し、ポリオ常在国はパキスタン、アフガニスタン、ナイジェリアの3カ国となり、ポリオ撲滅は最終段階をむかえています。

しかし、ポリオは国境を無視して飛び火します。全世界からポリオが撲滅されるまで、日本は勿論、すべての国でポリオの予防接種、ワクチン投与が行われます。ロータリーはWHO、ユニセフ、米国疾病予防センター(CDC)と共に世界ポリオ撲滅推進計画の主要パートナーとして活動しています。

私たちの活動はただ単に資金を集めるのではなく、アドボカシー(支援の呼びかけ)、ボランティア集め認識向上の活動を行っています。

そして1985年のキャンペーンを開始して以来、18億米ドル(約1736億円、全体予算の11%)を寄付してきました。もし、ここで私たちがその活動に手を抜いてしまったら、ポリオが再び全世界に拡がり、多くの子どもたちに悲惨な事態が起きます。ロータリーは1985年世界の子どもたちに人類からのポリオ撲滅を約束しました。

ポリオ撲滅の最終ゴールを走り抜ける強い決意を持って、私たちロータリアン1人1人が行動をする事が大切だと思っています。





人類に奉仕するロータリー

● クラブテーマ ●
入会し みんな幸せ ロータリー

■■ 本日のプログラム ■■
外部卓話
沼津市自立相談支援センター 米山世紀センター長

例会場：ニューウェルサンピア沼津
例会日：毎週木曜日 12:30点鐘

事務局 ●TEL 055-961-2050 (久松会計事務所内)
●FAX 055-961-2600 (久松会計事務所内)
E-mail ●numawestrc@gmail.com

◆◆第1230例会 会長挨拶◆◆

今日のお話は、「子供の誕生」です。現代に生きる私たちは、社会には大人がいて子供がいる、そして子供達は学校を経て大人になっていく、という当たり前の話、と思いがちです。小児科の講義で教授が、まず学生に話すのは、子供は小さな大人ではない、ということです。罹患する疾患も異なるうえ、同じ疾患に罹患しても、大人とは全く違った経過を取ることに注意を喚起しているのです。しかし、フランスの歴史学者フィリップ・アリエスは1960年に公刊した、この書物の中で、子供と大人の一線を当然視し、学校教育制度を当然視する現代の子供観に対して、疑義を呈したのです。かつて子供は小さな大人だったのです。

アリエスによれば、中世ヨーロッパには今とは全く違った社会が存在したのです。例えば、教育という概念も、子供時代という概念も無く、7～8歳になれば、徒弟修業に出され、大人と同等に扱われ、飲酒も恋愛も自由。なぜ大人と子供の一線を7～8歳に引いたのかと言えば、この時期に言語によるコミュニケーションが可能になると考えられたため。7～8歳以前の子供は動物と同じ扱いであり、大人がfrisbee代わりに投げ遊び、落として死なせたこともあったという。乳幼児死亡率が高く、5歳までは頭数に入れなかったほどです。

学校ができて、「子供」の概念が急速に広まっています。子供は無垢で無知で、守り育てなければならぬものだという考えが、わき起こってきます。このような考えは、学校の出現など社会状況の変化とともに、親たちの間にも、それまでとは異なった子供に対する意識の変化があったはず。子供が家庭に戻ったことは大きなできごとであり、中世的家族と一線を画する主要な特徴を、十七

世紀の家族に与えているのである。子供は日常生活に欠かせない要素となり、人びとはその教育や就職、将来を思いわずらう。子供はまだ社会機構全体の軸ではないが、以前と比べてはるかに重要な登場人物になるのである」

こうして子供の誕生とともに、家族も変化を余儀なくされました。家族は、その機能や形態も時代とともに変化しています。現代家族の諸問題として、具体的には、母子家庭や貧困家庭の増加、児童虐待、家庭内暴力、不登校、ニート・引きこもり、などなどがあります。

子供たちを取り巻く環境、家族は時代とともに変化しているということ、家族の問題を考えたり、家族の支援を行う人々は意識することが大切のようです。

5月のプログラム

05月04日(木)	祝日休会
1231回 12:30 05月11日(木)	ニューウェルサンピア沼津 インシエーションスピーチ 内田逸美君 理事会⑩
1232回 12:30 05月18日(木)	ニューウェルサンピア沼津 外部卓話 地区管理委員会(青少年奉仕及び危機管理)
1233回 12:30 05月25日(木)	ニューウェルサンピア沼津 ガバナー補佐期末訪問 前島正容君

クラブ管理運営委員会報告

●ゲスト

1. 沼津市自立相談支援センター 米山世紀センター長

●ビジター

1. 亀山昌美君：沼津北RC

★出席報告(会員総数 27名)

例会	会員数	出席数	MU	出席率
1230回	27名	22名	-	81.48%
1228回	27名	21名	4名	92.59%

会長	名古屋良輔	幹事	土屋昌之
広報委員長	上野祥行	編集者	成田みちよ

●欠席者(5名)

穎川ゆう子、井上武雄、永井克彦、鶴田龍聖、
渡邊勝也

●他クラブへの出席者

名古屋良輔、宮島賢次、鶴田龍聖(4/22 米山梅吉記念館春季例祭) 穎川ゆう子(4/26 三島RC)

●スマイル報告(本日のスマイル 6,000円)

1.名古屋良輔、2.土屋昌之、3.鈴木良則、4.成田みちよ：米山世紀様、卓話よろしくお願ひします。
5.次年度奉仕プロジェクト、青少年奉仕委員会：小委員会の残金です。

幹事報告

1.他クラブの例会変更等

①沼津柿田川RC

5月01日(月)裁量休会 MU有り

②新富士RC

5月02日(火)振替休日

5月09日(火)特別休会

③富士RC

5月03日(水)祝日休会

MUホテルグランド富士12:30~13:30

④富士山吉原RC

5月04日(木)祝日休会 MU無し

⑤富士宮西RC

5月05日(金)祝日休会

⑥沼津RC

5月05日(金)祝日休会 MU無し

2.報告・連絡事項

①次週5月04日(木)は、祝日休会です。

②次々週5月11日は、理事会がありますので、理事の方は出席又協議資料の提出をお願いします。

外部卓話



沼津市自立相談支援センター
米山世紀センター長

沼津市自立相談支援センターは、沼津市の委託で開設された生活に困窮されている方の相談センターです。設置場所は、健康福祉プラザ2F(通称：サンウェルぬまづ 日の出町1-15)です。開所時間は月～土曜の9:00～17:45(休み：日・祝・第3月曜・年末年始 電話055-922-1620)、対象は沼津市民の方ならどなたでも構いません。生活の困りごとを聞かせて頂き、就労支援、家賃の補助、住居がない人の緊急のシェルターや、塾に行けない子どもの学習支援などさまざま支援を計画立てて行わせて頂きます。

運営しているのは「NPO法人青少年就労支援ネットワーク静岡」という、静岡県内で若者(ニートやひきこもり等)や生活に困窮されている方の就労支援をボランティアで行う団体です。専門家が支援するのではなく、おせっかいや思いやりのある市民のネットワークで支援していくのは特徴です。

先日も原地区に一人暮らしをしている17歳の青年と出会いました。沼津は地元ではなく、母子家庭に育ち兄弟もいますが、彼の過去に起こしてしまった家庭内暴力で今は家族と離れて生活することを余儀なくされています。彼と出会い「介護に興味がある」ということだったので、ボランティアの方に登録して頂くメーリングリストに協力を呼びかけました。「介護で、家から歩いて行けて、短時間からの就労体験をさせてくれるところを探しています」と。なんと1日でお返事があり、地元でない沼津で彼は希望の介護の仕事に身をおくことができました。現在も仕事は続けており、働く時間もどんどん増えているとご報告いただいております。

このことから分かる通り「働くこと」は自立、また人生に置いて非常に重要です。彼が変われたきっかけも、市民ボランティアからの情報提供と就労体験を快く受け入れてくれた企業さんのおかげです。

このような活動をロータリークラブの皆さまにもお願いいたたく、今後も応援宜しくお願い致します。